

第21期第19回西部海区漁業調整委員会の概要

- 1 日時 令和元年5月9日(木)午後1時30分～
- 2 場所 青森市 アラスカ会館2階「ガーネット」
- 3 出席者 委員 15名
県 水産振興課2名、鱒ヶ沢水産事務所1名、むつ水産事務所1名
事務局 4名
- 4 概要
○議案の審議 3件
報告事項 3件



【議案】

(1) 青森県海区漁業調整委員会規程の一部改正について

平成31年4月1日付けの人事異動により、海区漁業調整委員会事務局の組織に新たな職を追加する必要が生じたため、青森県海区漁業調整規則規程の一部を改正することについて、審議した結果、原案どおり承認された。

詳細については、[青森県西部海区漁業調整委員会公示第1号](#)をご覧ください。

(2) 西部海区漁業調整委員会指示第2号に基づくいかつり漁業の新規操業承認について

平成31年2月13日付け委員会指示第2号「西部海区管内におけるいかつり漁業の操業に関する指示」に基づき、申請のあった下前漁協所属船1隻、川内町漁協所属船1隻の新規操業申請を審議の結果、承認することとした。

(3) 西部海区漁業調整委員会指示第3号に基づく自家用釣餌用いかつり漁業の新規操業承認について

平成 31 年 2 月 13 日付け委員会指示第 2 号「西部海区管内における自家用釣餌用いかつり漁業の操業に関する指示」に基づき、申請のあった大間漁協所属船 2 隻、大畑町漁協所属船 1 隻の新規操業申請を審議の結果、承認することとした。

【 報告事項 】

(1) 平成 31 年度年間計画について

本年度の西部海区委員会では、委員会 6 回を開催予定である旨を報告した。また、全漁調連総会や日本海ブロック会議等に出席予定である旨を報告した。

(2) 平成 31 年度農林水産関係職員の配置について

本年度の農林水産部幹部職員の配置について報告した。

(3) 第 33 回日本海・九州西部広域漁業調整委員会の概要について

去る、平成 31 年 3 月 13 日に東京で開催された標記委員会について、以下のとおり報告があった。

- ・九州西海域の広域資源管理に係る広域漁業調整委員会指示（九州・山口北西海域トラフグ、有明海ガザミ）について、原案どおり発出することに決定。

- ・南西諸島マチ類、日本海西部・九州西海域マアジ・マサバ・マイワシの資源管理、北部太平洋の大中型まき網による試験的なサバ類の個別割当、太平洋クロマグロの資源管理の状況と管理の方向性、平成 31 年度資源管理関係予算（概算決定）等について水産庁から報告があった。